

精華町次期総合計画策定に向けたアンケート調査  
追加集計分析

## 精華町次期総合計画策定に向けたアンケート調査の追加集計分析について

本調査は、「精華町次期総合計画策定に向けたアンケート調査結果報告書」(以下「アンケート調査」という。)について、令和3年12月16日開催の第2回精華町総合計画審議会での各委員からの意見をもとに追加集計分析を行ったものです。

### 1. 「京阪奈新線新祝園ルート必要性」について（「アンケート調査」P12）

働く世代である30代から50代が必要を感じている割合が少ないことについて、年代別と地域別をクロス集計することで、分析を行いました。（本調査P1）

### 2. 「行政サービスの水準」「行政(役場)の信頼度」「住民参画のしやすさ」について（「アンケート調査」P19）

「行政のサービス水準」と「行政(役場)の信頼度」などが低いのは、新興地域の人口増加や住民の意識の高まりなど、積極的な意識のある住民が多くなってきており、相対的に行政の指導力が下がってきている状態にあるとの考察について、年齢別のクロス集計により分析を行いました。（本調査P3）

### 3. 精華町の取り組みについての現在の「満足度」・今後の「重要度」（アンケート調査P30）

各施策の満足度と重要度について、若年層と高齢層で分析することにより、若い世代を町に惹きつける戦略や、高齢者の考える課題に先手を打つなど、今後のまちづくりの戦略に活かせるのではないかとの意見について、各施策の満足度と重要度の年齢別データを追加しました。（本調査P7）

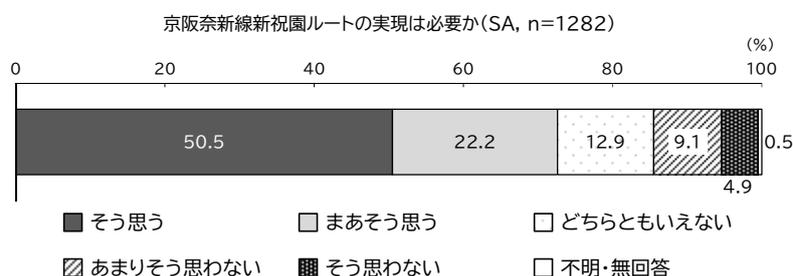
# 1. 「京阪奈新線新祝園ルート」の必要性」について（問11）

## 《居住地域別での年齢別のクロス集計を追加》

京阪奈新線新祝園ルートの実現が精華町の将来の発展にとって必要かについて、地域差はあるものの、全体として「29歳以下」と「60歳以上」は必要性を感じている割合が多く、それに比べると「30～39歳」から「50～59歳」は割合が少ない傾向が出ている。マイカーへの依存度の低い若年層や高齢者の方が、公共交通の必要性を高く感じているものと考えられる。

### 【全体】

京阪奈新線新祝園ルートの実現が精華町の将来の発展にとって必要かについて、最も多いのは「そう思う」で50.5%、次いで「まあそう思う」が22.2%で、合計で70%以上が必要と回答しています。

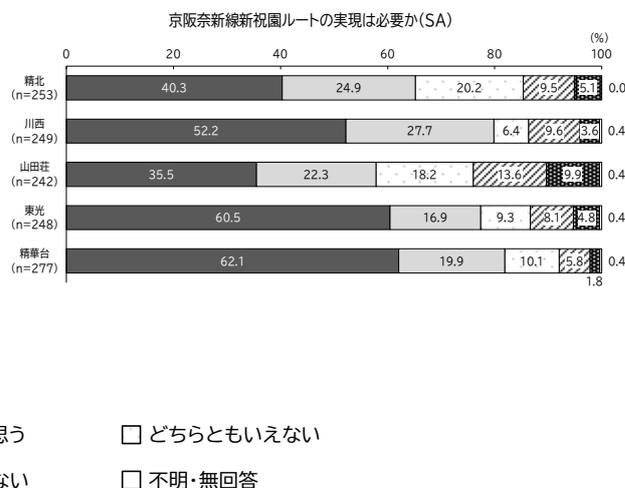
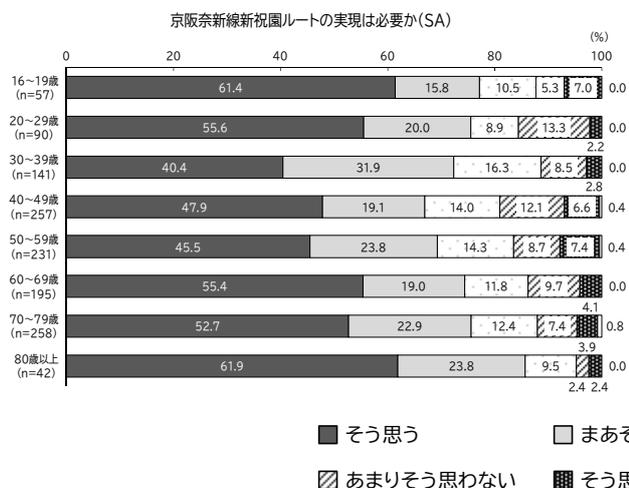


### 【年齢別】

「そう思う」と「まあそう思う」を合計した、京阪奈新線新祝園ルートの実現が必要と回答した割合は、すべての年代で65%以上となっているものの、「40～49歳」を中心に、「30～39歳」「50～59歳」が少なく、「29歳以下」と「60歳以上」では多くなっています。

### 【居住地域別】

「そう思う」と「まあそう思う」を合計した、京阪奈新線新祝園ルートの実現が必要と回答した割合は、「川西」「東光」「精華台」では75%以上、「精北」では約65%、「山田荘」では約55%と地域によって大きな差が出ています。



### 【居住地域別・年齢別】

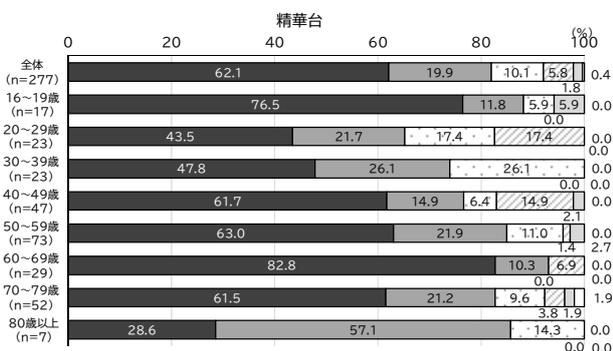
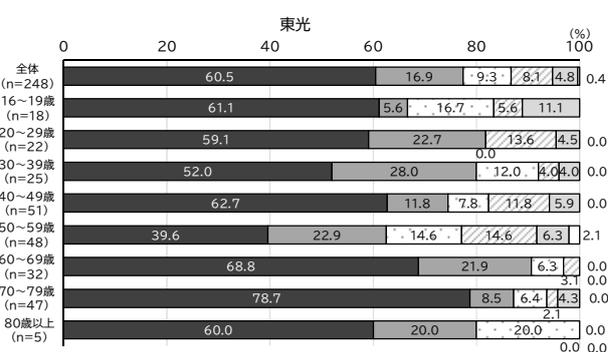
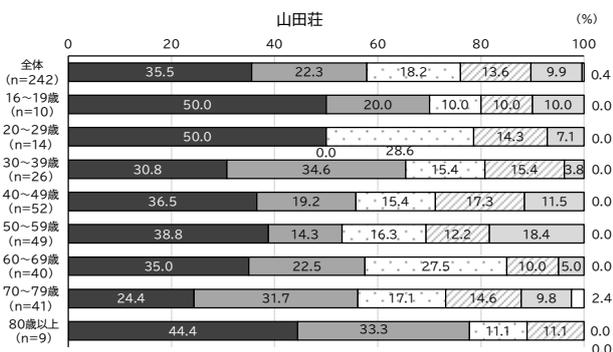
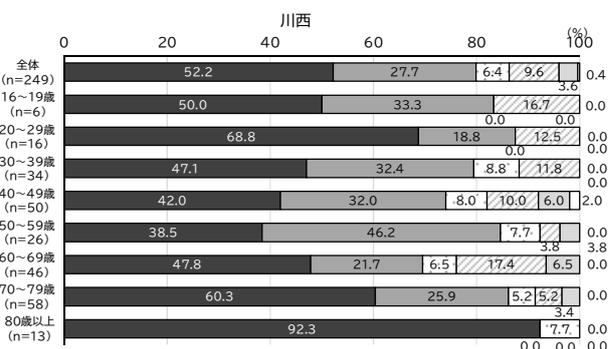
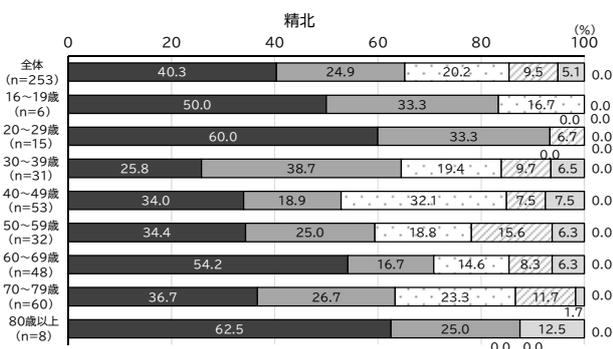
各居住地域における「そう思う」と「まあそう思う」を合計した、京阪奈新線新祝園ルートの実現が必要と回答した割合は、「精北」では、「20～29歳」で93.3%、「80歳以上」で87.5%と多く、「40～49歳」では52.9%と少なくなっています。

「川西」では、「80歳以上」で92.3%と多く、「60～69歳」で69.5%と少なくなっています。

「山田荘」では、「16～19歳」で70.0%、「80歳以上」で77.7%と多く、「20～29歳」では50.0%と少なくなっています。

「東光」では、「60～69歳」で90.7%、「70～79歳」で87.2%と多く、「16～19歳」で66.7%、「50～59歳」で62.5%と少なくなっています。

「精華台」では、「60～69歳」で93.1%と多く、「20～29歳」では65.2%と少なくなっています。



- そう思う
- まあそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- ▨ そう思わない
- 不明・無回答

## 2. 「行政サービスの水準」「行政(役場)の信頼度」「住民参画のしやすさ」について(問15)

### 《年齢別・居住年数別のクロス集計を追加》

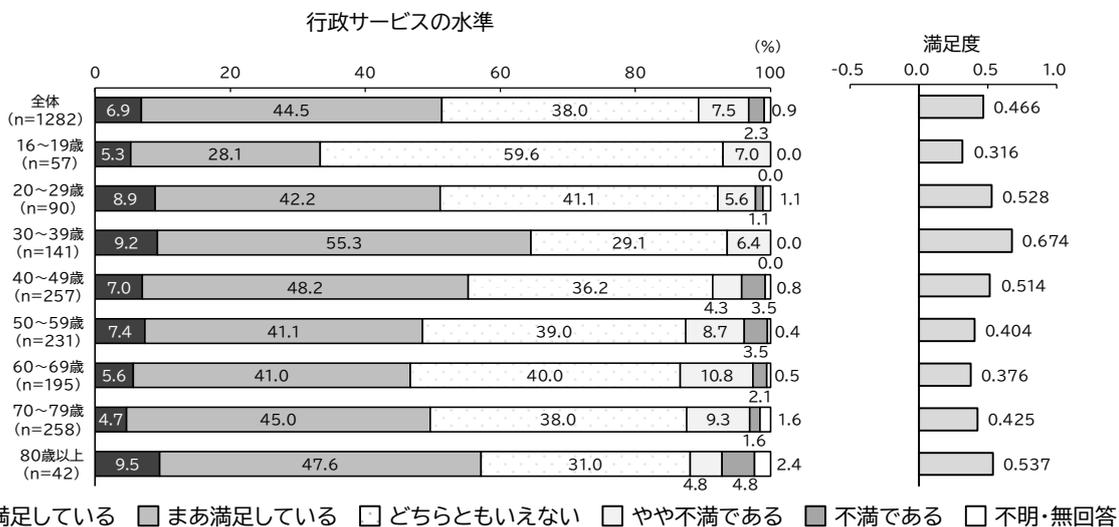
「行政サービス水準」「役場の信頼度」「住民参画のしやすさ」に対する満足度は、「30～39歳」「80歳以上」で高く、「16～19歳」と「50～59歳」から「70～79歳」で低くなっている。「80歳以上」を除くと、精華町での居住年数が長いほど、町政への満足度は低くなる傾向にある。

#### ① 行政サービスの水準

##### 【年齢別】

「満足している」と「まあ満足している」を合計した、行政サービスの水準について満足していると回答した割合は、「全体」で約50%となっています。

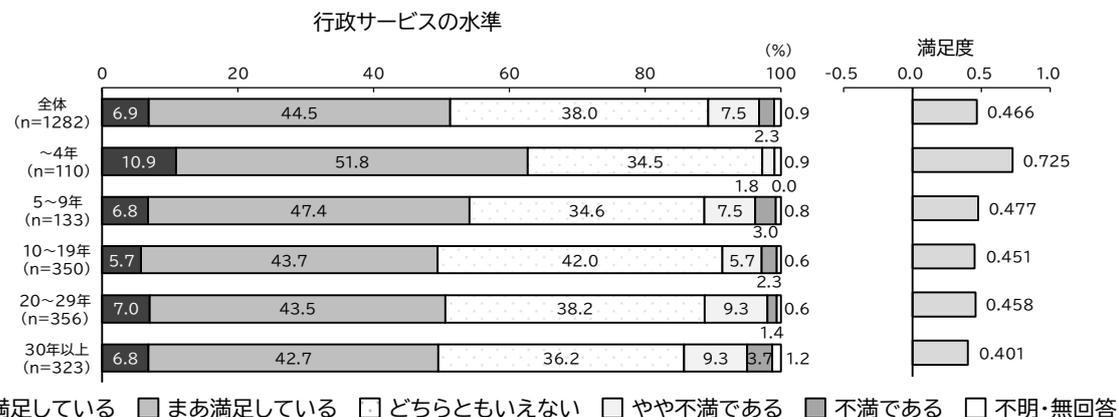
年齢別にみると、行政サービスの水準について満足していると回答した割合が、最も多いのは「30～39歳」で約65%、最も少ないのは「16～19歳」で約35%と、30ポイント以上の差があります。



##### 【居住年数別】

精華町での居住年数別にみると、行政サービスの水準について満足していると回答した割合が、最も多いのは「～4年」で約65%、最も少ないのは「10～19年」で約50%と、10ポイント以上の差があります。

居住年数が長くなるほど、満足度が低くなる傾向にあります。

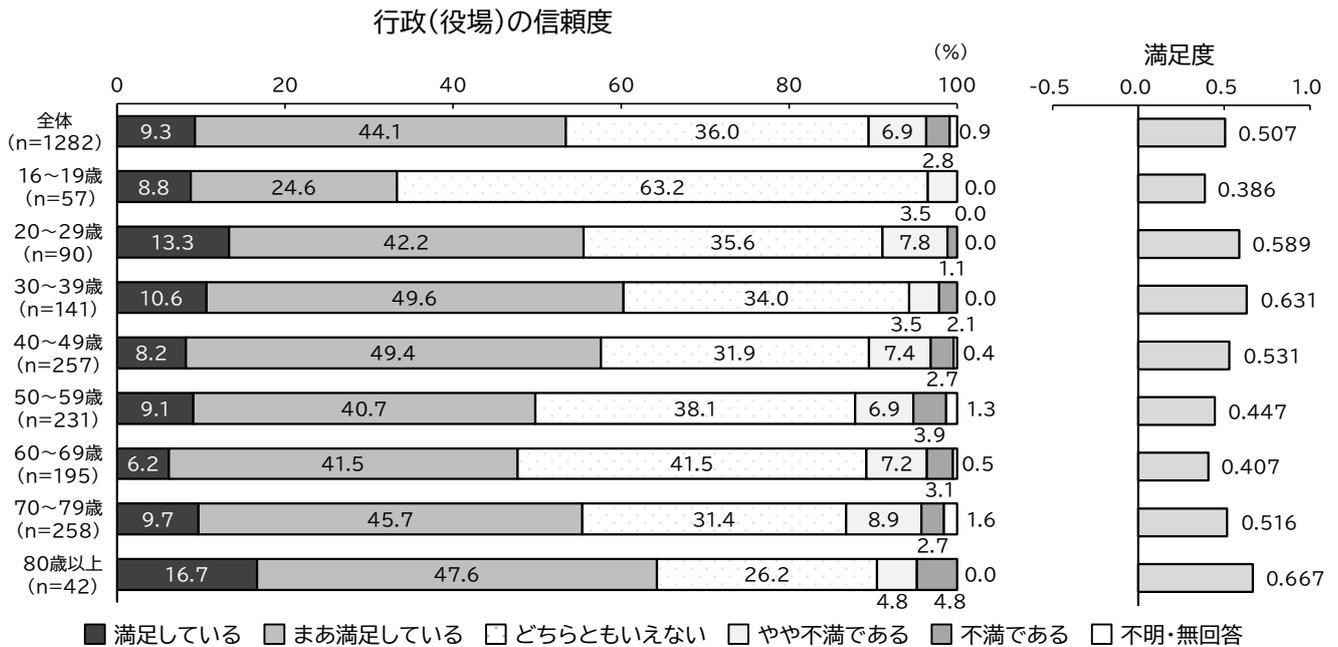


## ② 行政（役場）の信頼度

### 【年齢別】

「満足している」と「まあ満足している」を合計した、行政（役場）の信頼度について満足していると回答した割合は、「全体」で約 55%となっています。

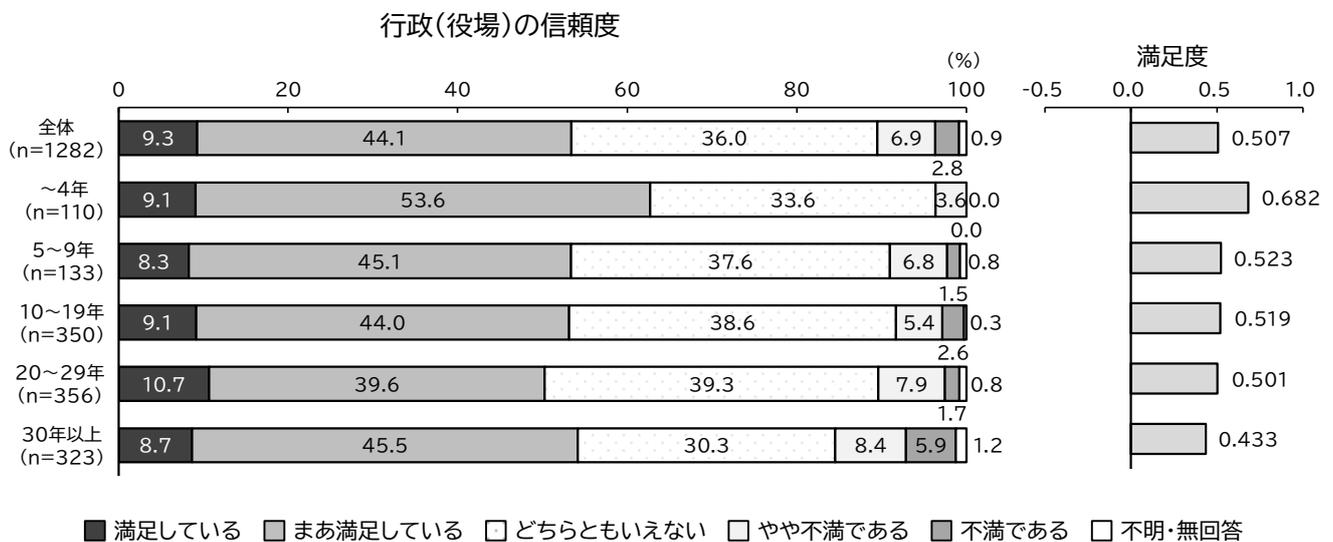
年齢別にみると、行政（役場）の信頼度について満足していると回答した割合が、最も多いのは「80 歳以上」で約 65%、最も少ないのは「16～19 歳」で約 35%と、30 ポイント以上の差があります。



### 【居住年数別】

精華町での居住年数別にみると、行政（役場）の信頼度について満足していると回答した割合が、最も多いのは「～4 年」で約 65%、最も少ないのは「20～29 年」で約 50%と、10 ポイント以上の差があります。

居住年数が長くなるほど、満足度が低くなる傾向にあります。

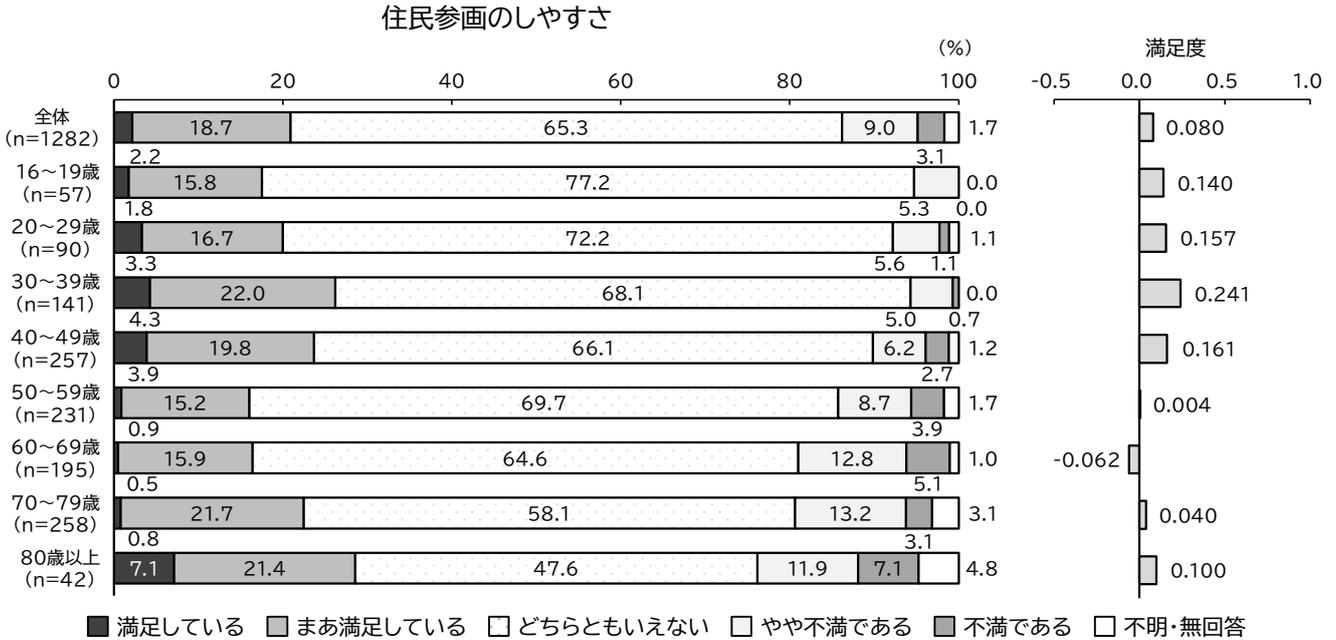


### ③ 住民参画のしやすさ

#### 【年齢別】

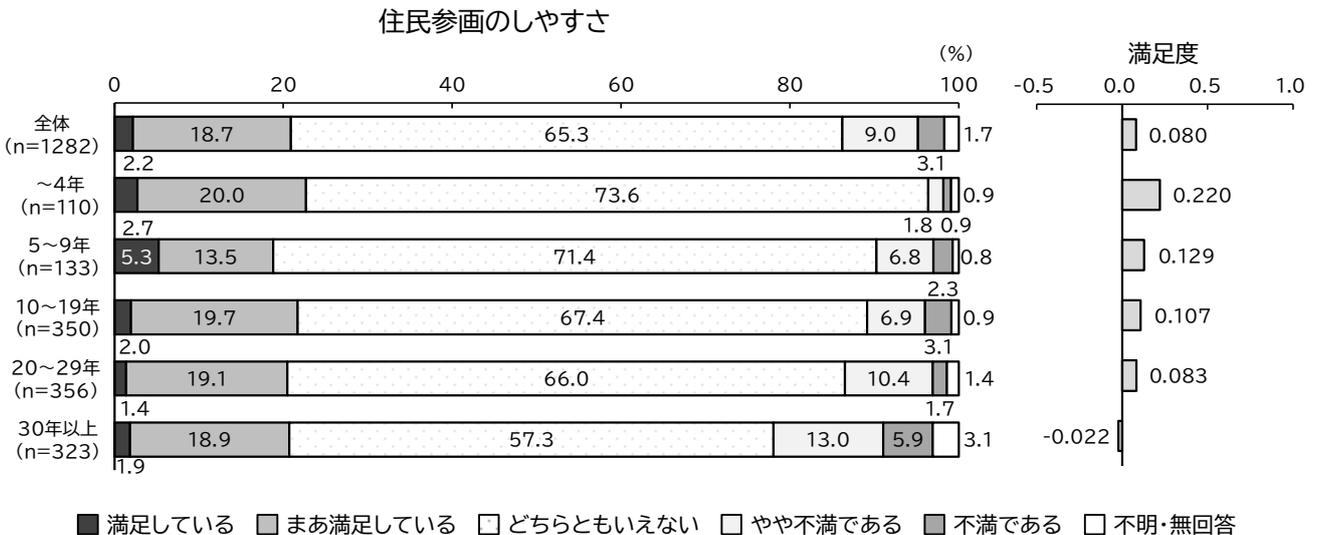
「満足している」と「まあ満足している」を合計した、住民参画のしやすさについて満足していると回答した割合は、約 20%となっています。

年齢別にみると、住民参画のしやすさについて満足していると回答した割合が、最も多いのは「80 歳以上」で約 30%、最も少ないのは「50～59 歳」で約 15%と、10 ポイント以上の差があります。



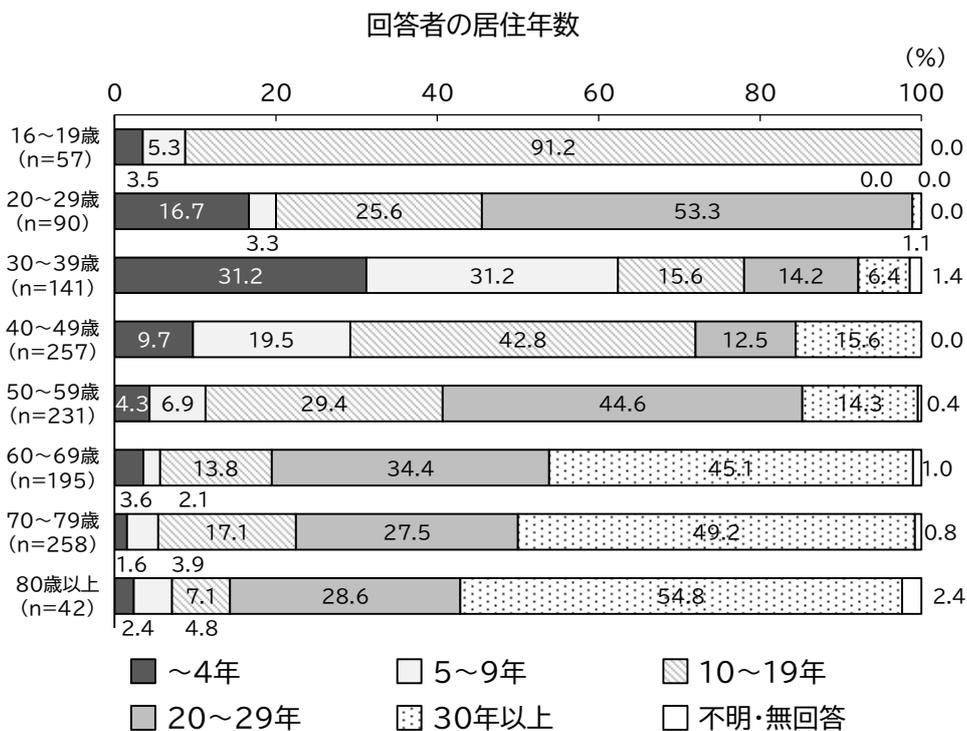
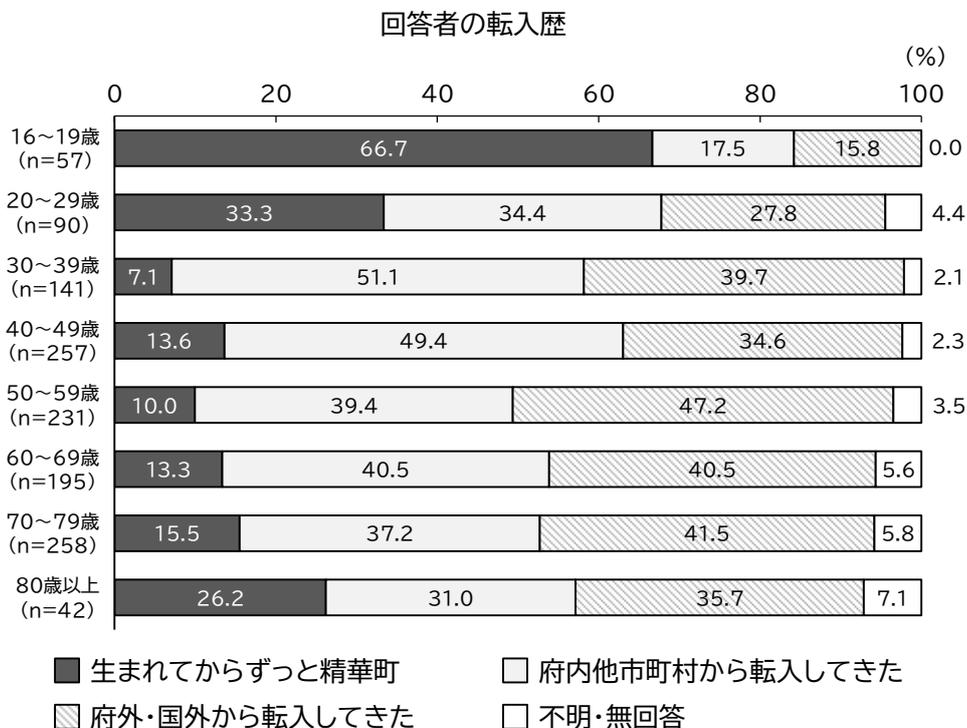
#### 【居住年数別】

精華町での居住年数別にみると、住民参画のしやすさについて満足していると回答した割合が、最も多いのは「～4 年」で 22.7%となっています。いずれの年数においても 20%程度で、大きな差はありません。



<参考>

年齢別の行政の満足度には、居住年数、転入歴も関係すると思われるため、参考データとして掲載しています。



### 3. 精華町の取り組みについての現在の「満足度」・今後の「重要度」(問 21)

#### 《年齢別の第5次総合計画の施策の「満足度」と「重要度」の評価を追加》

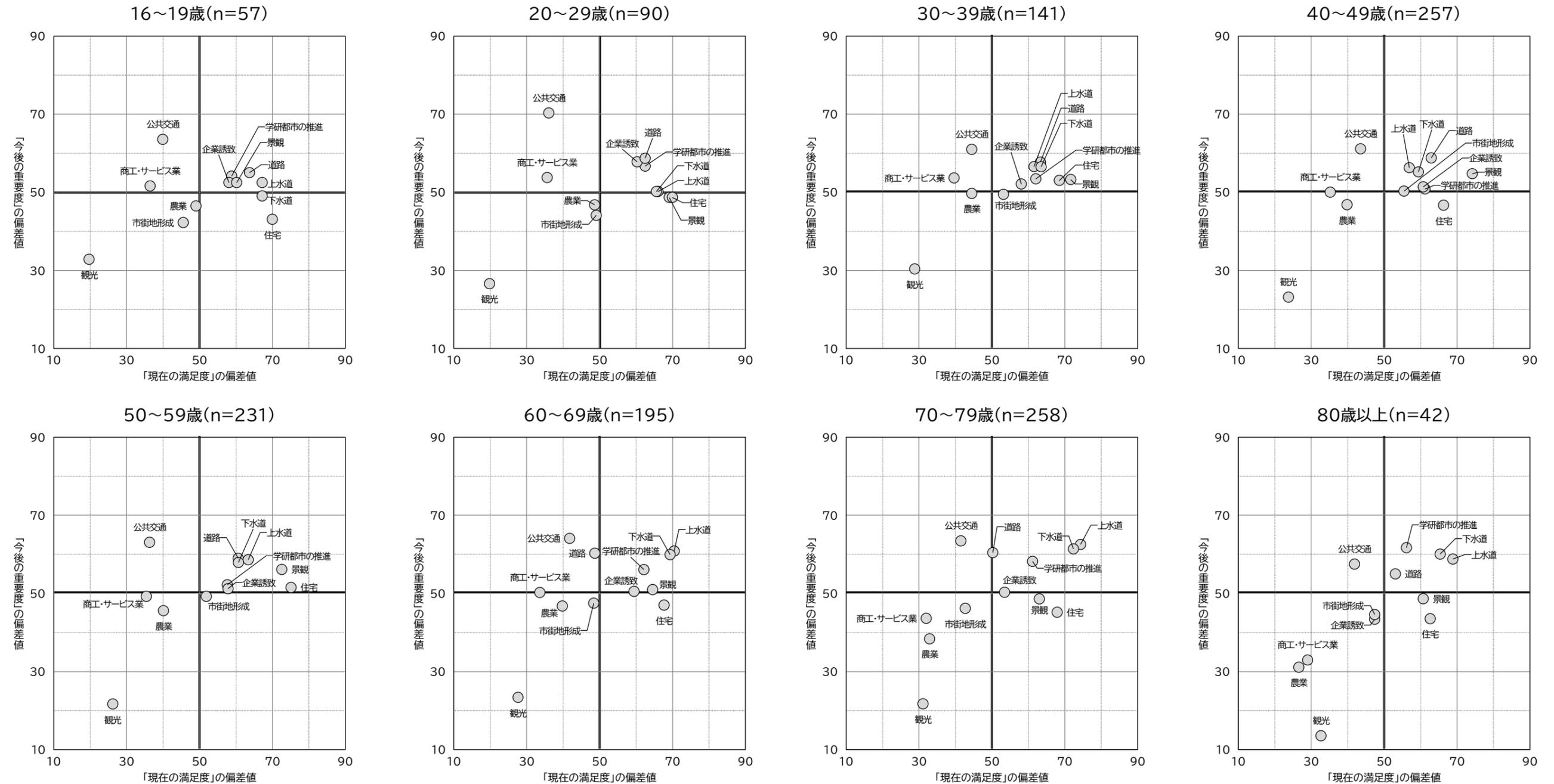
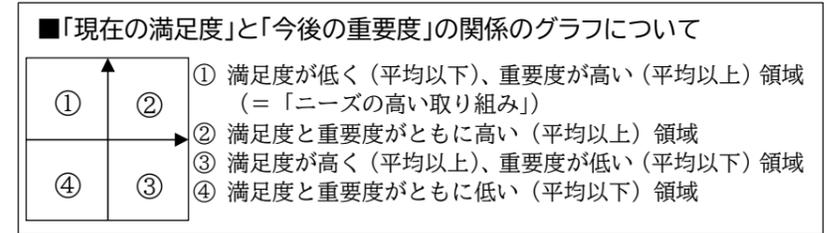
##### 【活力あふれ魅力ある学研都市のまちづくり】

すべての年代で、「公共交通」は満足度が低く、重要度が高い「ニーズの高い取り組み」(以下「ニーズの高い取り組み」という)となっています。

「16～19歳」から「40～49歳」「60～69歳」で、「商工業サービス」が「ニーズの高い取り組み」となっています。

すべての年代で、「学研都市の推進」「上水道」が満足度、重要度ともに高くなっています。

すべての年代で、「農業」「観光」が満足度、重要度ともに低くなっています。



【安全・安心で健やかな暮らしのまちづくり】

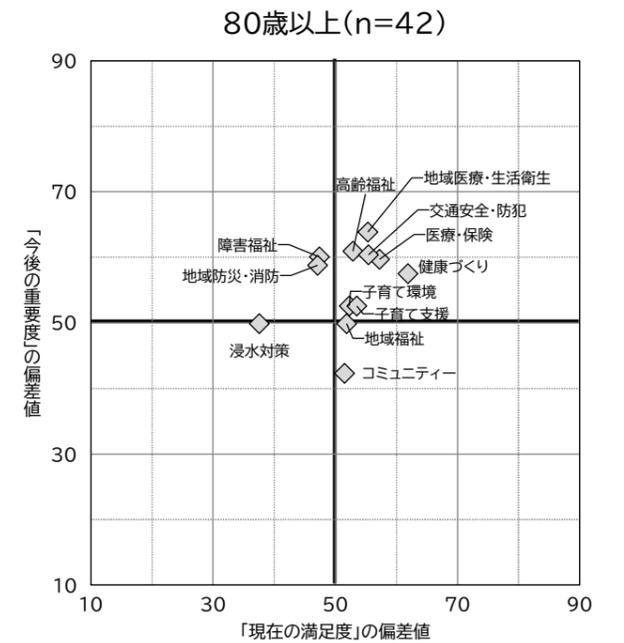
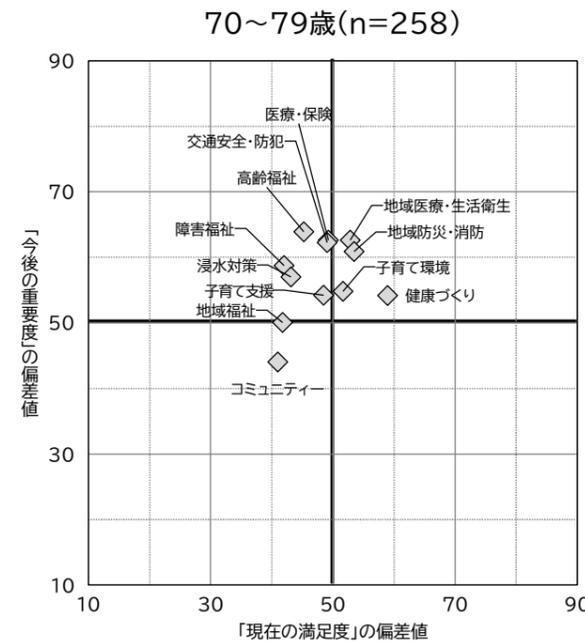
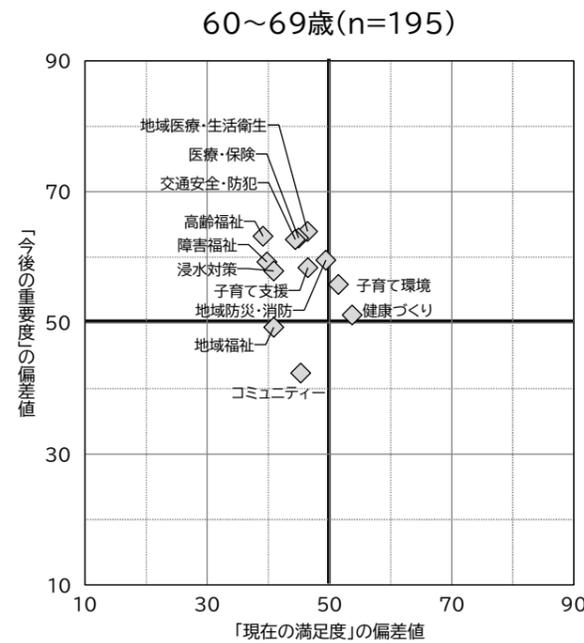
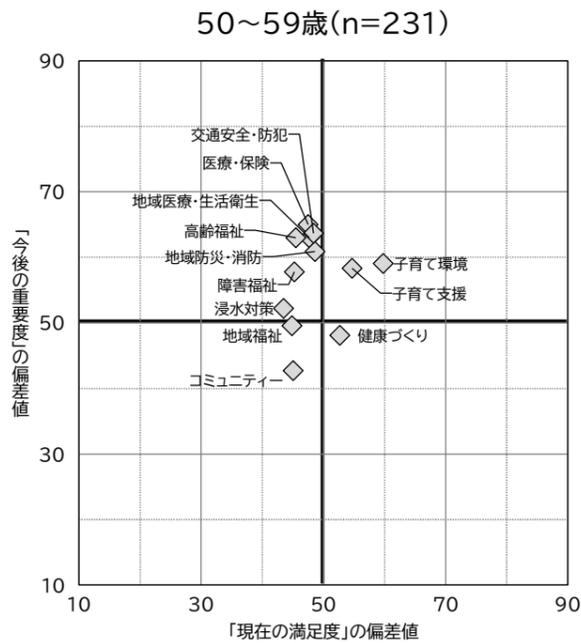
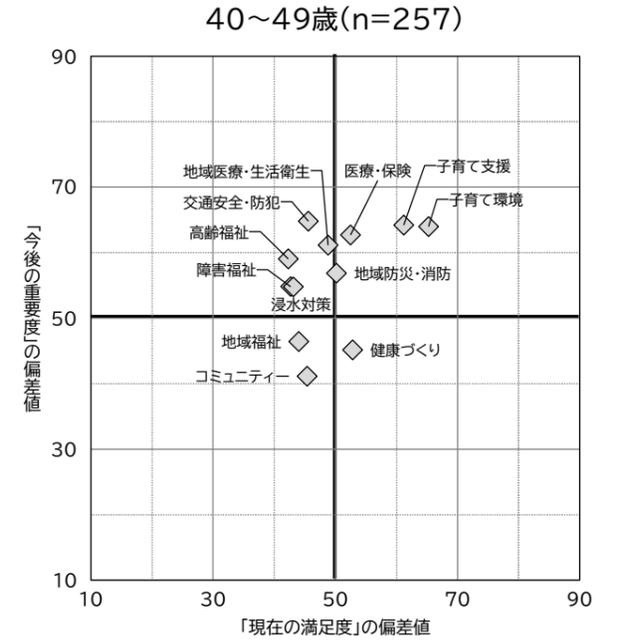
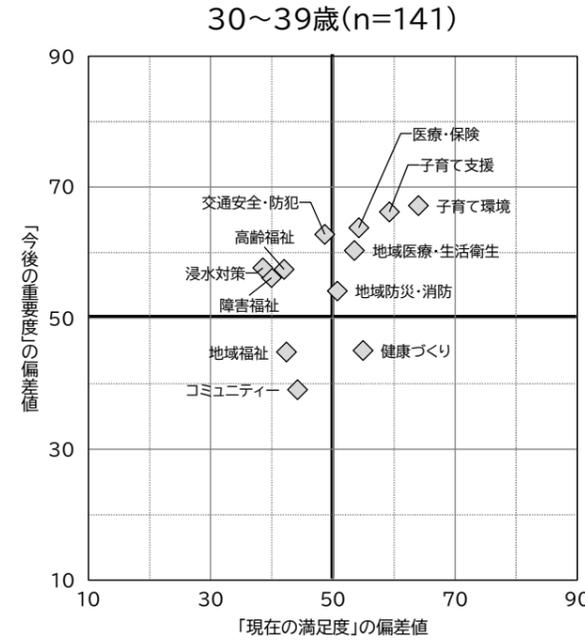
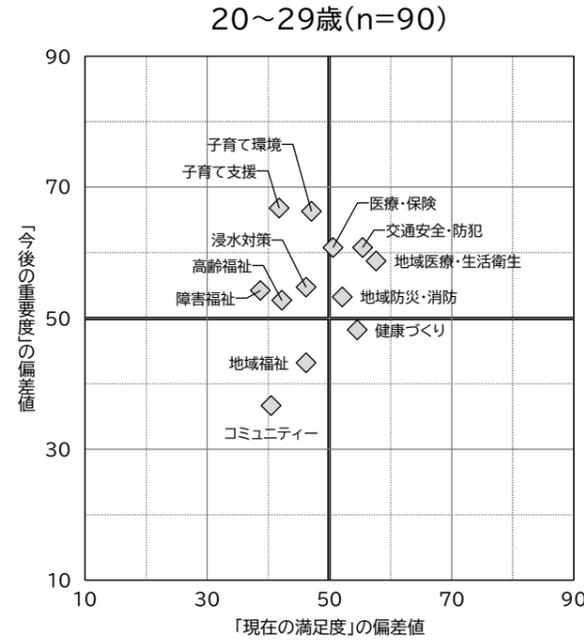
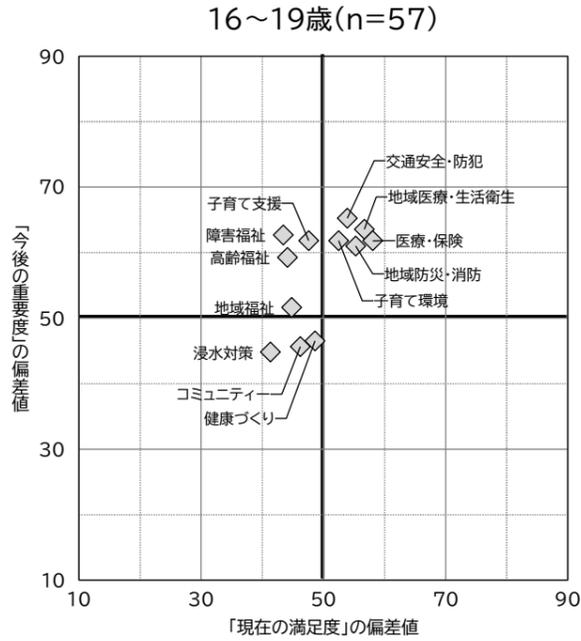
すべての年代で「障害福祉」が「ニーズの高い取り組み」となっています。

「80歳以上」で、「高齢福祉」は満足度、重要度ともに高い取り組みとなっており、「16～19歳」から「70～79歳」では「ニーズの高い取り組み」となっています。

「16～19歳」「20～29歳」で、「子育て支援」が「ニーズの高い取り組み」となっています。

「30～39歳」から「50～59歳」にかけて、「子育て環境」「子育て支援」の満足度、重要度がともに高くなっています。

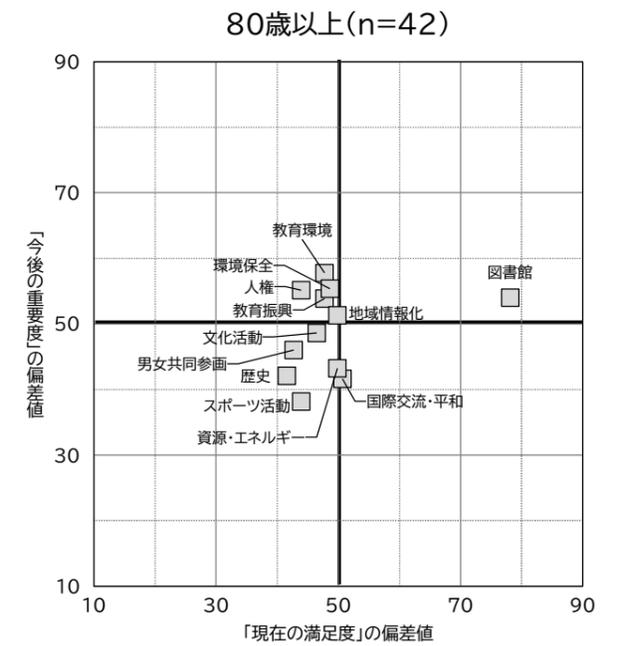
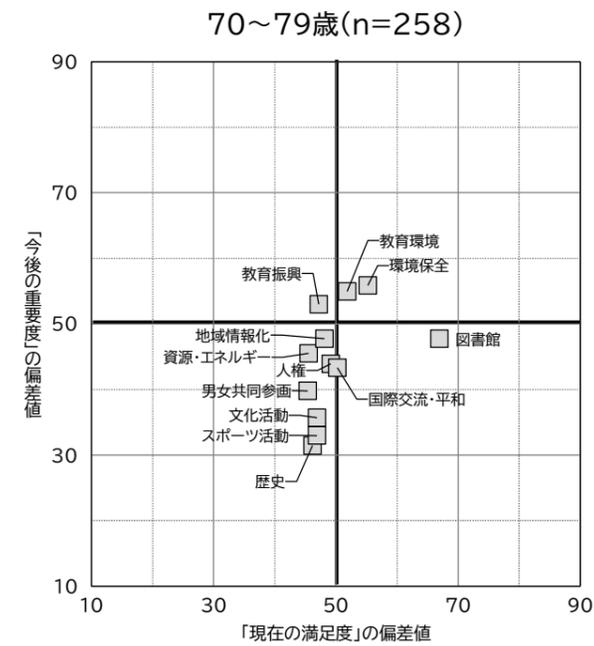
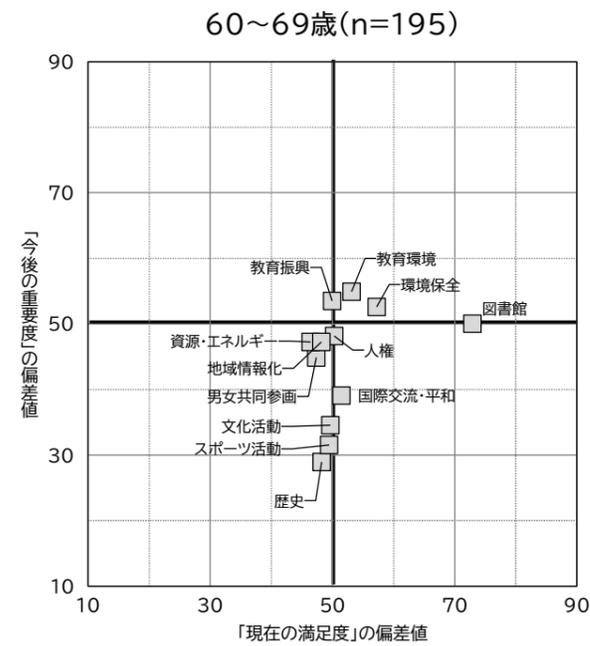
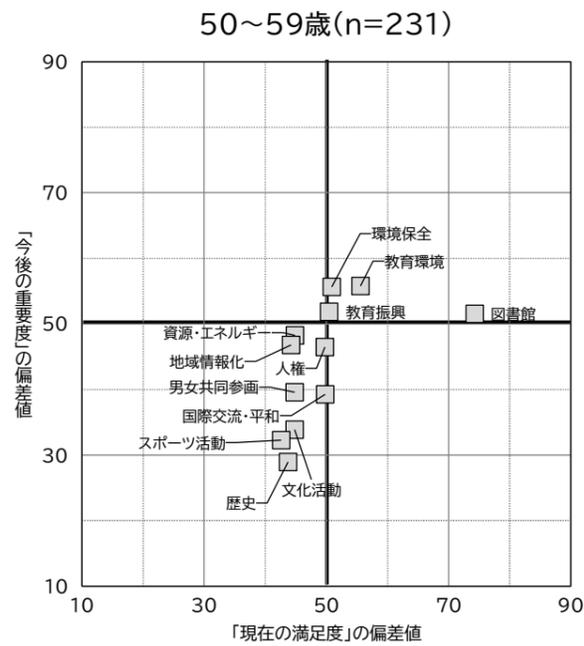
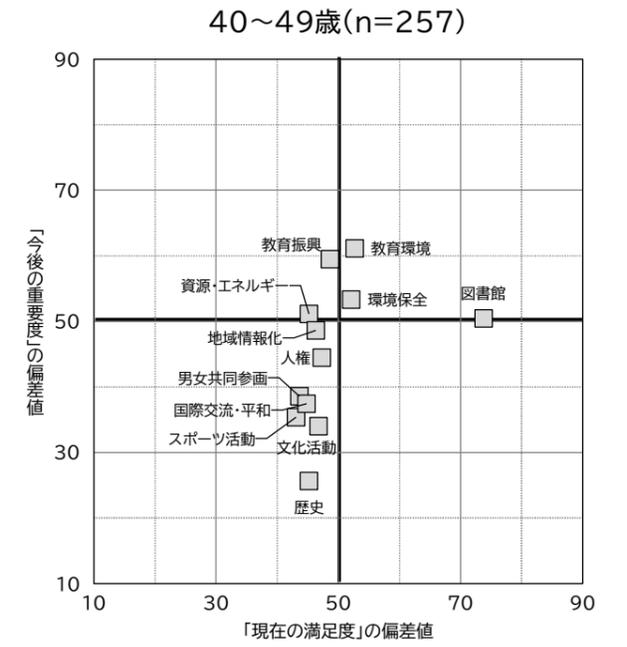
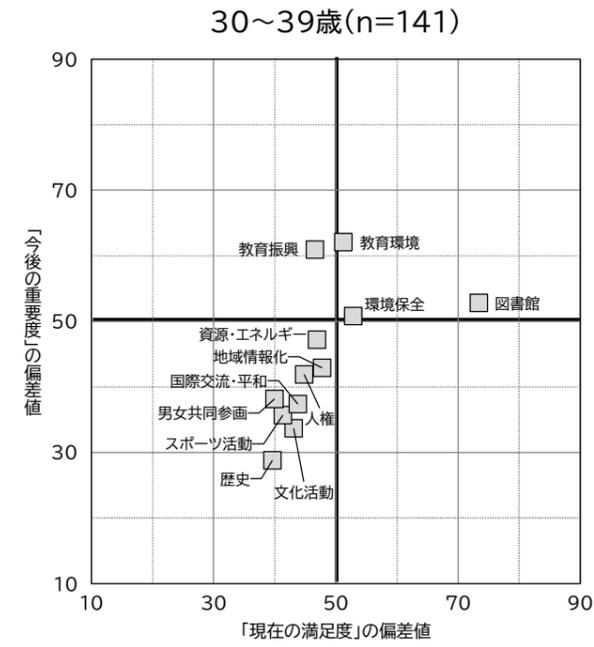
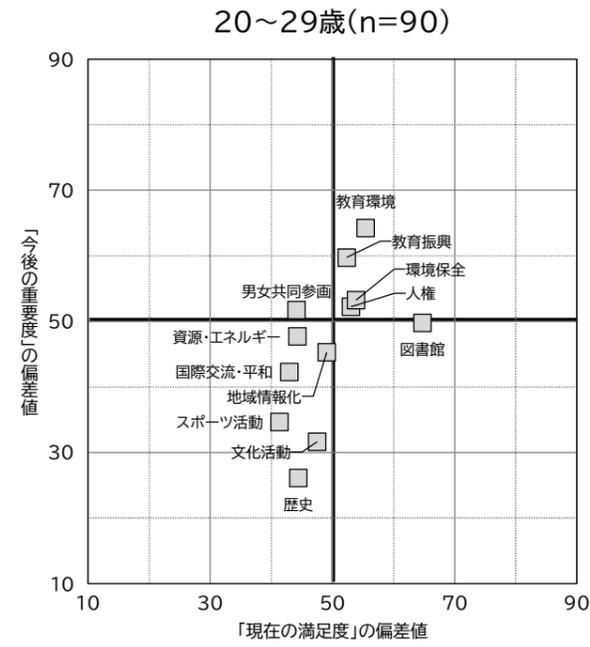
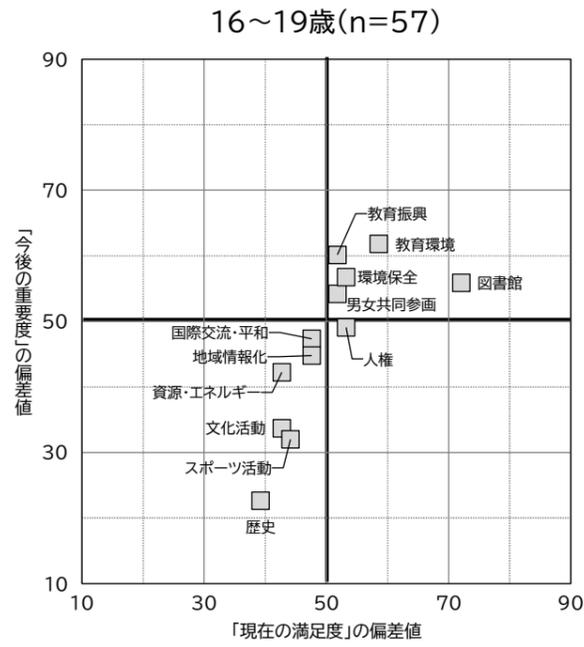
「80歳以上」を除くすべての年代で、「コミュニティ」の満足度、重要度がともに低くなっています。



【未来をひらく文化と環境のまちづくり】

「20～29歳」で「男女共同参画」が、「40～49歳」で「資源・エネルギー」が、「30～39歳」「40～49歳」「70～79歳」「80歳以上」で「教育振興」が、「ニーズの高い取り組み」となっています。また、「80歳以上」では、「教育環境」「人権」「環境保全」も、「ニーズの高い取り組み」となっています。

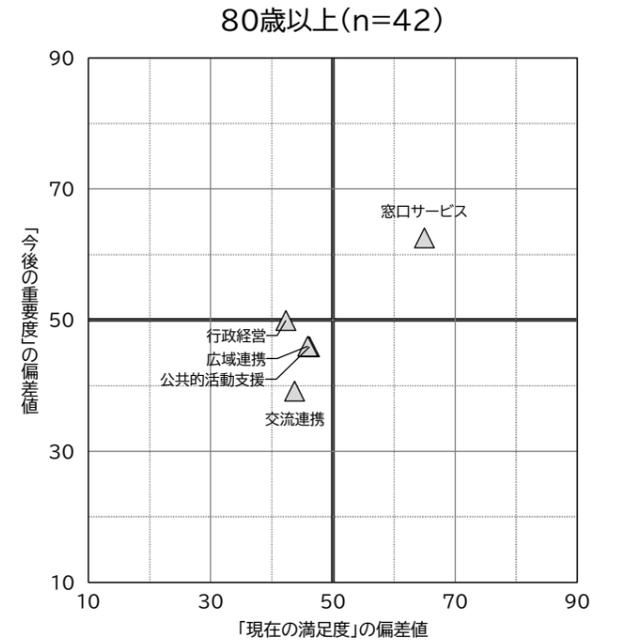
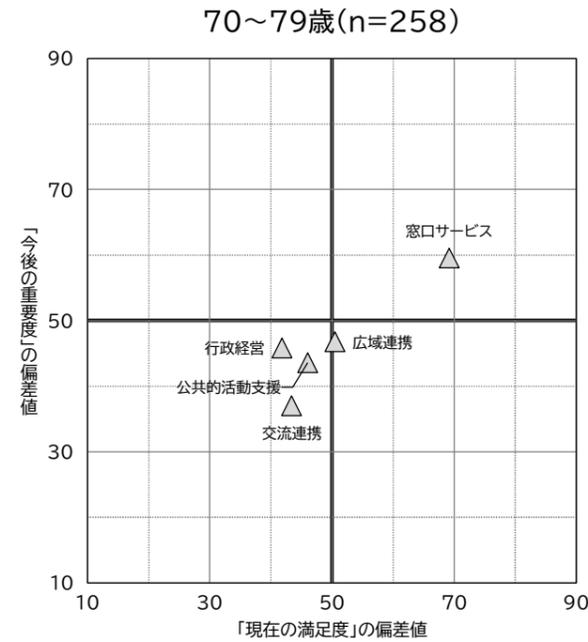
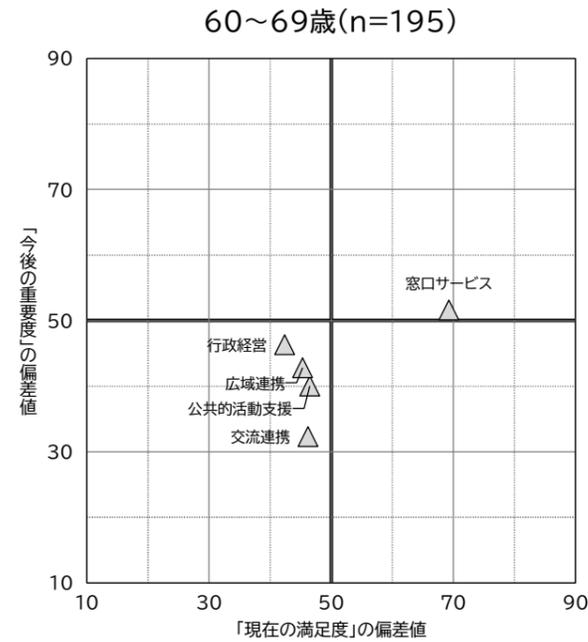
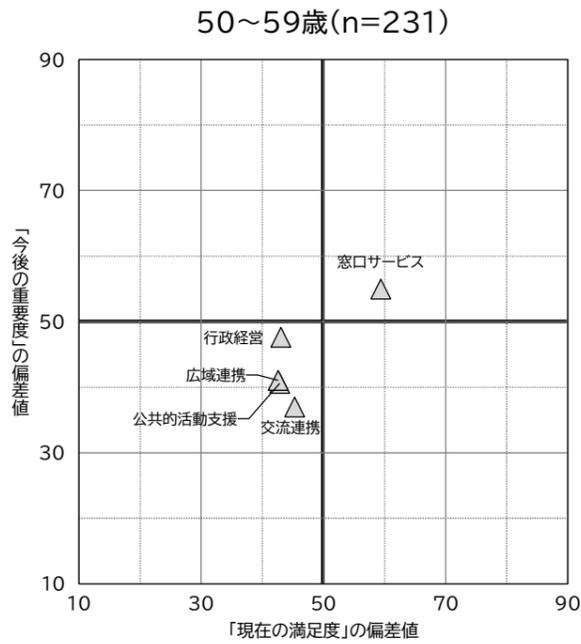
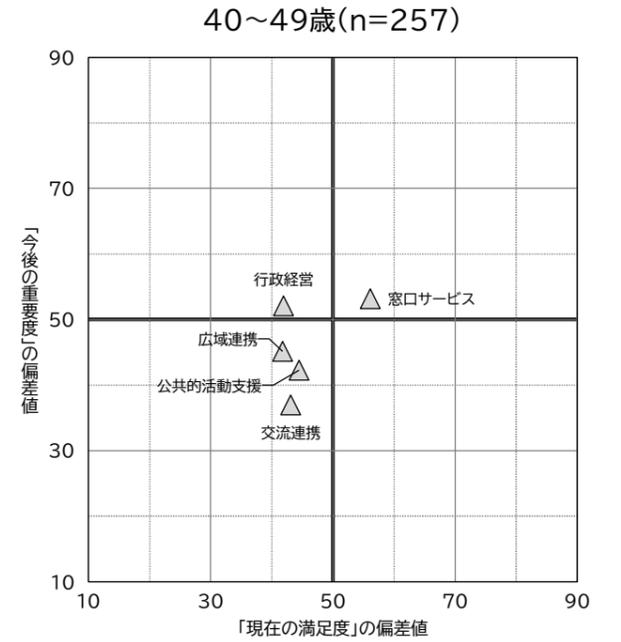
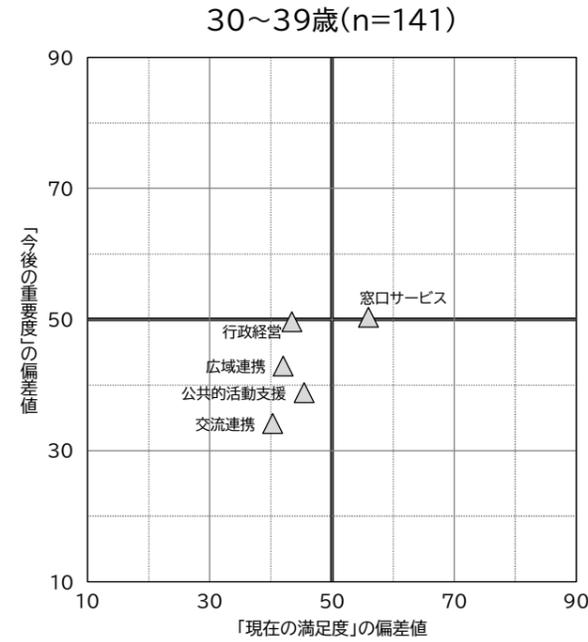
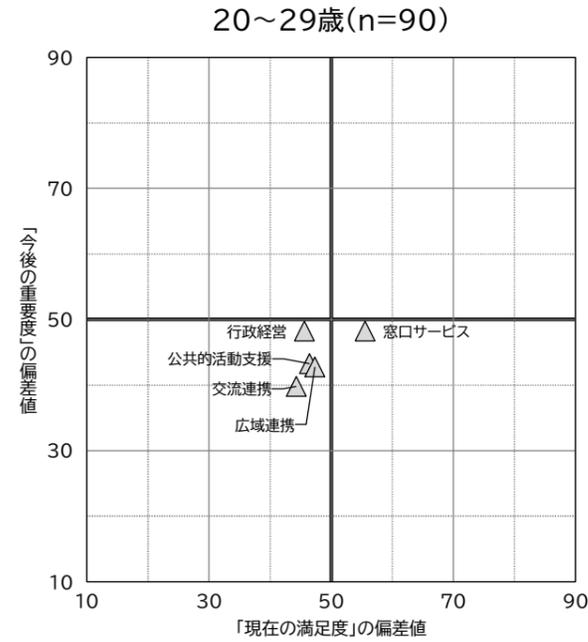
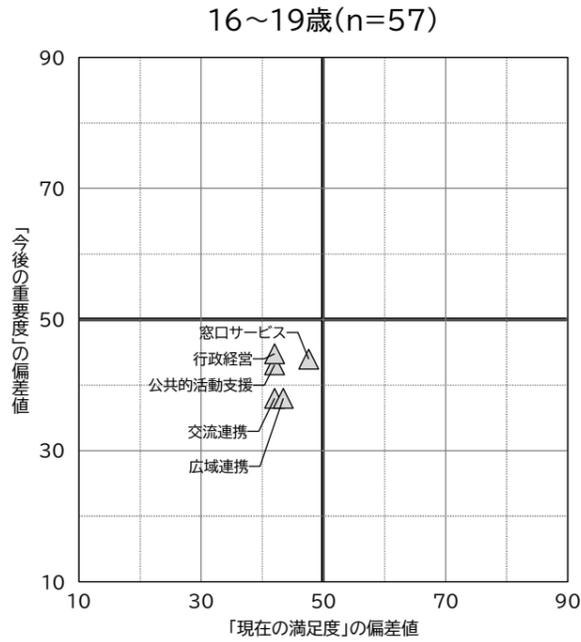
「16～19歳」から「70～79歳」で、「教育環境」「環境保全」が満足度、重要度ともに高い取り組みとなっています。また、「20～29歳」「70～79歳」を除くすべての年代で、「図書館」が満足度、重要度ともに高い取り組みとなっています。すべての年代で、「歴史」「文化活動」「スポーツ活動」の満足度、重要度がともに低くなっています。



【自立を目指した協働のまちづくり】

年代が高くなるほど、「窓口サービス」の満足度、重要度がともに高くなる傾向にあります。

すべての年代で、「交流連携」「公共的活動支援」の満足度、重要度がともに低くなっています。



※ 「公共的活動支援」の満足度 42.83、重要度 40.58、「広域連携」の満足度 42.63、重要度 41.07

※ 「公共的活動支援」の満足度 46.18、重要度 45.93、「広域連携」の満足度 45.91、重要度 46.01